



認定 NPO 法人 大阪府北部コミュニティカレッジ

2022 年度 立命館大学 大学提携授業

『まちの物語を紡ぐということ』

～ネットワーク型のまちづくりの意義～

ひろのり
講師：山口 洋典 氏

立命館大学 共通教育推進機構教授

社会心理学者



【プロフィール】

1975 年静岡県磐田市生まれ。立命館大学在学中に、阪神・淡路大震災を経験。震災のボランティア活動を通じて NPO の活動に関わり始める。大学院在学中に、特定非営利活動法人きょうと NPO センターの設立に参加。2002 年より大阪大学大学院人間科学ボランティア人間科学講座（地域共生論）博士後期課程にて、上町台地からまちを考える会をフィールドにコミュニティ・シンクタンクの展開におけるグループ・ダイナミックスを研究。2011 年には立命館大学共通教育推進機構准教授となり、立命館災害復興支援室の設立に携わり、東日本大震災の支援に取り組む。2019 年 5 月より 2021 年 3 月まで立命館 SDGs 推進本部事務局長。2020 年より現職。

日時: 2022 年 12 月 14 日(水)

10:00～11:40(休憩 10 分間)

(受付 9:30～ 着席 9:50)

●受講生は名札の着用をお願いいたします。



[講義の概要]

人口減少やグローバル化の中、改めて地域に根ざした仕事と暮らしが着目されるようになってきました。

とりわけ、長引くコロナ禍において、もう一度、人と人とのつながりを見つめ直した、という方も多いのではないのでしょうか。

今回の大学提携講座では、NPO やボランティア活動を通じた地域活性化の実践事例から、いかにして住みごたえがある日常を生み出すことができるか、その担い手のあり方について深めます。

NPO やボランティアが嫌い、あるいは参加するのが苦手、という方も、一人ひとりが「わがまち」への愛着を抱くこと、そしてそうした思いを共有しあうことのできる仲間づくりへの手がかりを得ていただければと願っています。

《立命館大学教授 山口洋典》

場所: 豊中市アクア文化ホール

阪急曽根駅下車東へ5分

(館内での飲食は出来ません)

